

障がい児通所支援事業所連絡協議会(仮称)の設立について

1. これまでの経過

- ・R3年度こども部会において、放課後等デイサービスなどの障がい児通所支援の課題を協議する場がないとの課題提起。
- ・市障がい福祉課として市内障がい児通所支援事業所に対して連絡協議会の設立についてアンケートを実施。

2. アンケート結果

資料4参照

3. こども部会として、障がい児通所支援に関する課題を協議する場をどこに依頼すべきか。

案① 障がい児通所支援事業所連絡協議会(各事業所の児童発達支援管理責任者の集まり)を立ち上げ、その役割を担ってもらう

メリット

- ・多くの事業所の意見を聞く機会ができる。
- ・行政が関わることで課題共有や意見交換の幅が広がる。

デメリット

- ・既にある任意団体との棲み分けが複雑になる。
- ・行政主導の集まりになってしまうのではないかという意見がある。

案② 任意の障がい児通所支援事業所連絡会にその役割を担ってもらう

メリット

- ・既に立ち上がっているため、新たに立ち上げるより話がスムーズである。

デメリット

- ・参加率が低いため、多くの人のさまざまな意見の集約ができていない。
- ・事務局として行政が関わらないため、協力する範囲が限られる。

4. 今後の流れ

- ・令和4年7月5日(火)に市主催で障がい児通所支援事業所向けに集団指導及び研修会を開催予定であり、その場で今後の方向性について説明予定。